

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議について。	運営推進会議の参加委員が固定化(利用者が参加した記録がない)している。会議の運営や議題について検討し、参加委員にとっても知識や情報を得る会議として、有意義な会議にしていく。	利用者の代表や参加委員を多方面から参加を募り、会議の活性化を図り、新しく事故、ヒヤリ等の情報を提供する。	12ヶ月
2	10	家族の希望や疑問点を引き出し、運営に反映させているが、本音を引き出すための、工夫や改善。	家族が参加しやすい家族交流会の開催を検討し、家族間の互助的な役割を果たすようにする。	家族交流会で職員が席を外し、家族だけで自由な意見交換ができるようにする。出された意見は、グループホームとして出来る事と出来ない事の説明を行う。	12ヶ月
3	11	職員の意見の反映。	利用者が快適な生活環境になるよう、また職員も働きやすい環境となるような体制を作る。	月に一度の全体会議以外に意見や改善案等を施設全体の経営層と意見や提案ができるようにする。	12ヶ月
4	49	利用者が重度化しているのに伴い、介護業務の基本的な介護支援が多くなっており、服薬支援のまちがいのヒヤリがある。	食事介助時の服薬支援のまちがいをなくす。	本人と薬を確認し声に出して「本人よし、薬よし、誤薬なし」の指差し確認をする。	12ヶ月
5	54	居心地の良い共用空間作り。	生活感や季節感を取り入れて、居心地の良い生活の場を作る。	年間の行事計画に沿った季節を感じられるような環境を整える。春夏秋冬が感じられる作品や花を飾る。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。